

せいや 誓耶后	まりし 摩利史天女
大 日 天	らくしゃ 輜車に乗ず
びせいや 毘誓耶后	九 曜 七 曜
	二十八宿
大 月 天	が 鷲に乗ず
	十二宮

金光明經こんこうみょうに云はく「日の天子および及以月天、是の經典を開き精氣充実す」と。最勝王經に云はく「日出でて光を放ち無垢炎清浄なり。此の經王の力に由りて流暉るき四天に遶る」と。仁王經に云はく「日月度を失ひ」等。大集經に云はく「日月、明を現ぜず。四方皆亢旱す。是くの如き不善友・悪王・悪比丘我が正法きえを毀壞す」と。仁王經に云はく「非法非律にして比丘けぼくを繫縛すること獄囚ごくしゅうの法の如くす」と。法華經に云はく「色力及び智慧、此等皆減少す」と。華嚴經に云はく「段食だんじき・法食ほうじき・喜食きじき・禅悦食ぜんえつじき」と。大集經に云はく「三力は一切衆生力・法力・自身功德力なり」と。

日光	┌	戒光	——	清浄なり
		定光	——	定なり
		慧光	——	なん 湊なり

人 天	——	三学	小 乘	——	三学
大 乘	——	三学	權大乘	——	三学
実大乘	——	三学	純 円	——	三学

法身光・般若光・解脱光

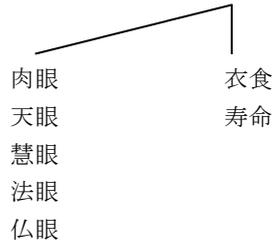
此の天は初地  
 十信・十住・十行・十廻向・十地・等・妙  
 ┌ 或は義は十廻向なり

初地は三惑断

初住は三惑断

┌ 北辰  
 梵・帝釈・日・月・四天等  
 └ 衆星

# 一切の四天下の衆生の眼目



有に非ず地を離るゝが故に。空に非ず有を照らすが故に。辺に非ず中に処するが故に。  
而も空なり空に処するが故に。而も有なり有を養ふが故に。不来なり北に至るが故に。  
而も来なり南に来たるが故に。不一なり四州を照らすが故に。不異なり一日なるが故に。  
不断なり常なるが故に。不常なり一処に住せざるが故に。

記の三に云はく「部、方等と雖も義は円極<sup>えんごく</sup>なる故に。故に今之を引く」と。